

【問合せ】秘書広報課

☎773-6658

観光地としてのキャッシュレス化について

【意見・提案など】

先日、実家に帰った際にちょうど「本気丼」を知り外食をしましたが、いずれも現金のみでカードなど全く使えませんでした。現金をあまり持ち歩いていなかったので焦ってしまいました。もちろん、店頭で現金のみの張り紙はありません。キャッシュレスを推進しているこの時期に、ちよつと沿わないと思います。

予約しないとなかなか入れない店でありながらレシートも出ない（レジを置いていない）店もあり、びっくりしました。

経費のかかることではありますが、観光客からすれば観光地だからこそ、現金をあまり持ち歩かずに、カード決済などを望むのではないのでしょうか？

市として観光客を呼び寄せたいのなら、そういうことを率先して店側にアピールするべきではないかと思えますが、どう考えているのでしょうか？

うか？

(令和元年10月)

【市からの返事】

貴重なご意見をいただきありがとうございます。ありがとうございます。

当市でも、飲食店・宿泊施設などのキャッシュレス化を推進しています。市観光協会や市内商工会を通して、市内業者向けの説明会を随時開催して、キャッシュレス化によるメリットをアピールし、設備の導入を推進しています。現時点では、まだ事業者のキャッシュレス化に対する意識は低く、導入の動きも鈍い状況です。

これは、キャッシュレス決済システムが事業者に浸透していないことや、お客様の利用頻度に対する設備の導入・維持費用や手数料との費用対効果について、懐疑的に捉えている事業者が多いためであると考えられます。これに対処するため、事業者の負担軽減策について市観光協会と協議を進めています。

当市において観光地域づくりを推進していくためには、キャッシュレス化やレジ周りの整備は必須要件と考えています。今後も継続して普及推進に努めていきます。

(担当…商工観光課)

ライフラインの料金について

【意見・提案など】

ライフライン（水道・電気・ガス）の料金が高すぎる。特に水とガス。他の行政区に比べて単価が高く、生活への影響が大きい。

若者が子育てをするには負担が大きく他の地区へ転居する要因にもなる。

(令和元年7月)

【市からの返事】

以前の水道水は、地下水（井戸水）や湧水を水源とし、簡易的な施設や設備により水道水を作っていたため、料金は現在の半額程度でした。しかし、自然水源を利用していたため、夏季や年末年始などで水の利用量が多くなる時期には、水不足がとも心配されてきました。

現在は、主要な水源が三国川ダムからの表流水であるため、薬品などを使用して浄水処理を行い市内全域に送水しています。これにより、水不足や水質汚濁といった心配はほとんどありません。

水道水を「安全・安定的・持続的・安価」に利用者へ届けることが水道事業者としての使命です。

しかし、現時点では、「安価」という点が実現できておらず、市民の

みなさんの大きな負担となっているのが実態です。

利用者の負担を少しでも減らすため、検針・料金収納業務を民間委託にした料金センターの開設により、人件費の削減を行うなど、料金に直結する経費の削減を行っています。また、「一部高齢者への福祉減免」、平成30年4月からは若干ではありませんが「基本料金の減免」を行っています。

また、経費の削減に限界があることから、水道事業の抜本的な見直しを行いました。施設規模の見直しや経費を抑えた水づくりを行い、やがて料金の引き下げにつなげられるような経営に取り組んでいくものです。短期間で成果を上げることが難しいところですが、「安全・安定的・持続的・安価」の4つの使命を一刻も早く実現できるよう努力します。

なお、電気事業、ガス事業については民間事業者により経営されています。料金体系は事業者が決定していることから、市としては対応できないことをご理解ください。

(担当…水道課)